

大阪市立大学・特別講義 I・II・III



東日本大震災から学ぶ “都市防災”

参加費
無料
(先着順)

平成23年11月12日(土)

特別講義 I 「いのちを守るしくみ」

時間: 13時~16時 / 場所: 大阪市立大学・学術情報総合センター文化交流室 / 定員: 100人

平成23年11月26日(土)

特別講義 II 「広域複合災害」

時間: 13時~17時 / 場所: 大阪市立大学・工学部中講義室 / 定員: 120人

平成23年12月10日(土)

特別講義 III 「コミュニティ再生」

時間: 13時30分~17時 / 場所: 大阪市立大学・学術情報総合センター文化交流室 / 定員: 100人

主旨

大阪市立大学では、東日本大震災をうけて、分野横断の組織で「新たな都市防災」の研究・教育に努めています。この特別講義 I・II・III は、「市民主体による都市防災力向上」の取り組みの一環として、成果を市民、学生などに広く公開し、社会で情報を共有し、議論を深めるために企画されました。特に、「いのちを守る」ことを第一義に、個別に想定されていた災害を重層的に捉える複合災害として再検討し、多重防御の視点をもちながら、コミュニティ再生の立場に立った新しい防災都市のあり方を議論します。今回は広く市民の方も対象とした特別講義として開催します。

主催

大阪市立大学重点研究「都市防災研究」グループ

<http://odrp.life.osaka-cu.ac.jp>

I

特別講義 I:いのちを守るしくみ-東日本大震災からみた課題

日時:2011年11月12日(土)13:00~16:00/場所:大阪市立大学学術情報総合センター1階・文化交流室(下記MAP①)

プログラム

開会挨拶および趣旨説明

森一彦(生活科学研究科)

第1部:基調講演

「災害時の救命医療」

溝端康光(医学研究科)

休憩

第2部:パネルディスカッション

「災害派遣医療チーム<DMAT>の仕組みとこれからの課題」

コーディネーター:森一彦(生活科学研究科)

「避難行動の実態と支援の在り方」

山本啓雅(医学研究科)

「災害ボランティアが果たした役割、果たすべき役割」

渡辺一志(都市健康・スポーツ研究センター)

「災害サバイバル市民を目指すセルフケア支援」

松尾浩樹(大阪市ボランティア情報センター)

「災害に果たす文化の役割」

石井京子(看護学研究科)

ディスカッション

中川眞(文学研究科)

II

特別講義II:東日本大震災の被害報告と広域複合災害に対する都市の課題

日時:2011年11月26日(土)13:00~17:00/場所:大阪市立大学工学部中講義室(下記MAP②)

プログラム

開会挨拶および趣旨説明

重松孝昌(工学研究科)

第1部:基調講演

「福島第一原発事故による放射能汚染とその影響について」

山崎秀夫(近畿大学理工学部)

「和歌山県における防災対策の課題」

太田和良(和歌山県国土整備部)

「大阪市の今後の防災対策について」

水野智雄(大阪市危機管理室)

休憩

第2部:東日本大震災報告

「地震動の特性と地殻変動の実態」

三田村宗樹(理学研究科)

「液状化被害とその原因」

大島昭彦(工学研究科)

「建物被害」

谷口与史也(工学研究科)

「海岸構造物の被害とその対策」

重松孝昌(工学研究科)

「鉄道・道路の被害と復旧」

鬼頭宏明(工学研究科)

「津波災害に伴う廃棄物・汚染物質問題」

水谷聡(工学研究科)

閉会の挨拶

宮野道雄(大阪市立大学副学長)

III

特別講義III:コミュニティ再生 - コミュニティの再構築からみる震災復興の課題

日時:2011年12月10日(土)13:30~17:00/場所:大阪市立大学学術情報総合センター1階・文化交流室(下記MAP①)

プログラム

開会挨拶

加藤司(経営学研究科)

第1部:基調講演

「発災直後の被災商店街の復興プロセス~神戸・三陸~」

東朋治(全国商店街支援センター派遣・復興支援統括マネジャー)

「仮設住宅におけるコミュニティ再生」

立岡学(一般社団法人パーソナルサポートセンター・安心見守り協働事業部代表)

「(仮)地域の生活資源の復興」

都築光一(岩手県立大学社会学部)

休憩

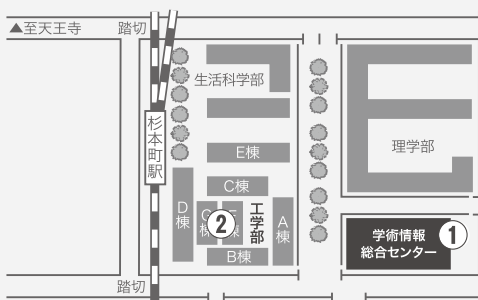
「津波防災と都市構造~釜石調査から~」

小長谷一之(創造都市研究科)

第2部:パネルディスカッション

コーディネーター:加藤司(経営学研究科)

報告者を交えたパネルディスカッション



マップ/電車でのアクセス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約5分

地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分

最寄駅への
経路・所要時間

新大阪から:JRもしくは地下鉄御堂筋線、約1時間

関西国際空港から:JR関空快速(堺市駅で各停に乗換)、約1時間

※原則としてお車での来学はご遠慮いただいております。

問い合わせ:大阪市立大学重点研究「都市防災研究」プロジェクト事務局(メールもしくはファックスのみ)

メール:bousai.jimukyoku@gmail.com ファックス:06-6605-3086

大阪市立大学・特別講義 I・II・III

東日本大震災から学ぶ都市防災

特別講義 I：いのちを守るしくみ — 東日本大震災からみた課題

日時：2011年11月12日（土）13：00～16：00

場所：大阪市立大学学術情報総合センター1階・文化交流室

プログラム

開会挨拶および趣旨説明

森 一彦（生活科学研究科）

第1部 基調講演

「災害時の救命医療」

溝端 康光（医学研究科）

休憩

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター：森 一彦（生活科学研究科）

「災害派遣医療チーム〈DMAT〉の仕組みとこれからの課題」

山本 啓雅（医学研究科）

「避難行動の実態と支援の在り方」

渡辺 一志（都市健康・スポーツ研究センター）

「災害ボランティアが果たした役割、果たすべき役割」

松尾 浩樹（大阪市ボランティア情報センター）

「災害サバイバル市民を目指すセルフケア支援」

石井 京子（看護学研究科）

「災害に果たす文化の役割」

中川 眞（文学研究科）

ディスカッション



大阪市立大学・特別講義 I・II・III

東日本大震災から学ぶ都市防災

特別講義II：東日本大震災の被害報告と広域複合災害に対する都市の課題

日時：2011年11月26日（土）13：00～17：00

場所：大阪市立大学工学部中講義室

プログラム

開会挨拶および趣旨説明

重松 孝昌（工学研究科）

第1部 基調講演

「福島第一原発事故による放射能汚染とその影響について」

山崎 秀夫（近畿大学理工学部）

「和歌山県における防災対策の課題」

太田 和良（和歌山県県土整備部）

「大阪市の今後の防災対策について」

水野 智雄（大阪市危機管理室）

休憩

第2部 東日本大震災報告

「地震動の特性と地殻変動の実態」

三田村 宗樹（理学研究科）

「液状化被害とその原因」

大島 昭彦（工学研究科）

「建物被害」

谷口 与史也（工学研究科）

「海岸構造物の被害とその対策」

重松 孝昌（工学研究科）

「鉄道・道路の被害と復旧」

鬼頭 宏明（工学研究科）

「津波災害に伴う廃棄物・汚染物質問題」

水谷 聡（工学研究科）

閉会の挨拶

宮野 道雄（大阪市立大学副学長）



大阪市立大学・特別講義 I・II・III

東日本大震災から学ぶ都市防災

特別講義III：コミュニティ再生 — コミュニティの再構築からみる震災復興の課題

日時：2011年12月10日（土）13：30～17：00

場所：大阪市立大学学術情報総合センター1階・文化交流室

プログラム

開会挨拶 加藤 司（経営学研究科）

第1部 基調講演

「発災直後の被災商店街の復興プロセス～神戸・三陸～」

東 朋治（全国商店街支援センター派遣・復興支援統括マネジャー）

「仮設住宅におけるコミュニティ再生」

立岡 学（一般社団法人パーソナルサポートセンター・安心見守り協働事業部代表）

「(仮)地域の生活資源の復興」

都筑 光一（岩手県立大学社会福祉学部）

休憩

「津波防災と都市構造～釜石調査から～」

小長谷 一之（創造都市研究科）

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター：加藤 司（経営学研究科）

報告者を変えたパネルディスカッション

